

## 自治会総会へのメッセージ

団地のみなさん

東日本大震災から5年目となりますが、いまだに仮住まいを余儀なくされている人がおり大変なことです。安心して住み続けられる住まいの早期復旧を強く願います。

世間では事件・事故が多発し、いつ何が起きるかわからない、これまでに以上に不安定な社会となっています。

こうしたなか、公団住宅に住む私たちも、家賃の改定も各住宅の契約更新日に変わる等と居住の不安にさらされています。加えて、消費税増税により、生活は大変になるばかりです。

そして、居住者の高齢化と少子化、低所得化はとどまるところを知りません。儲けのために手段を選ばない政治ではなく、誰もが安心と豊かさを実感できる住宅政策・政治・社会にしていきましょう。

赤ちゃんから高齢者までが住む団地の居住者として、お互いの顔の見える環境づくりをすすめ、教育・医療等山積する諸課題の解決や前進に向けて、これまで以上に団結を強め、がんばって行こうではありませんか。

千葉・茨城自治協も全力をあげて取り組みます。

最後に、貴自治会の定期総会のご成功と一層のご活躍ご発展をご祈念申し上げます。連帯のごあいさつといたします。

2016年4月

千葉・茨城公団住宅自治会協議会  
会長 渡辺志げ子